

## 大会時・コロナ禍での取組

- ・2018年頃：広島集中豪雨を受け、自宅から基幹システムにアクセスできる仕組みを構築
- ・2020年：コロナ禍により全国各社に波及

## 人の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリバラ コロナ禍

- テレワーク・・・実施率5割以上（必要に応じて速やかに実施）
- オフピーク通勤・・・定時出社の前後2時間でオフピーク通勤を実施
- 有給休暇の計画的な取得の促進・実施・・・既設制度の活用促進
- 手続きの電子化・・・既設システムの見直し・拡充
- 会議等のオンライン化・・・Webミーティングの推奨  
※従前の朝礼もビデオメッセージやコメントとして社内掲示板に掲載

## 物の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリバラ コロナ禍

- 余裕を持った出荷  
一時期は早めの出荷を検討、実施したが、無観客となり通常シフトへ
- 取引先との配送に関する調整  
混雑時は中継地点を動かしたり、陸送を船や鉄道に変更したりすることも検討した。実際は混雑の影響はなく変更しなかった

## 取組ポイント

- 被災時の経験を基に、事前に対策を実施
- 2班に分け計画的に出勤し、出勤率を低減
- 労務管理として社内掲示板にて自社の方針やシステム打刻方法等を掲載
- 早くからTeams、ZOOMでの各ミーティングを開催し、社員がオンライン会議に慣れる機会を意図的に創出

## 取組ポイント

- 2019年度よりトップダウンにより対策の検討開始
- 運送会社別の混雑状況の確認を基に、営業部署との協働による早めの出荷準備及び出荷指示の実施

## 今後の取組

## 人の流れ

継続して取組を実施予定

- オフピーク通勤
- 会議等のオンライン化
- 計画的な休暇の取得
- 手続きの電子化（社内・社外問わず）

※ 今後の新型コロナの感染状況により、いつでもテレワークを活用した2班体制の出勤に移行できるよう準備済み  
※ コロナ対応後もテレワークは業務ツールの一つとして残る見込み

## 物の流れ

- 災害時の対応等への活用

大会に備えて準備したことや実施した取組を災害時の対応等に役立てていく

## 【東京2020大会を振り返って】

- ・2020TDM推進プロジェクト事務局に大会期間中の物流に関する社内向けの情報提供について相談し、その内容を社内掲示板で全社員に共有した。主に運送会社からの情報や大会スケジュール、道路混雑・交通規制情報・目的地到達時間検索等を共有した。
- ・2020TDM推進プロジェクトHPは必要な情報が全て入っていたが、情報量が非常に多く、欲しい情報・必要な情報が見つけ難かった部分もあった。2020TDM推進プロジェクト自体をもっと広くPRしてほしかったと思う。
- ・東京2020大会に備えて準備したことや実施した取組は、災害時の対応にも活用できるため今後も役立てていきたい。